

規程第6条関係 授業科目の種類  
 経営プログラム(昼間主コース)

プログラム専門科目	経営プログラム専門科目	基礎科目	科目番号	授業科目	単位数	応用科目	科目番号	授業科目	単位数
			経営103	簿記入門	4		経営211	人的資源管理論	2
			経営201	組織行動論	2		経営213	ベンチャー企業論	2
			経営202	経営組織論	2		経営222	ホテル経営論	2
			経営203	観光情報論	2		経営225	物流サービス論	2
			経営205	会計学	2		経営226	Tourism Development	2
			経営206	流通原論	2		経営311	競争戦略論	2
			経営207	経営情報論	2		経営312	コーポレートファイナンス実践編	2
			経営208	消費者行動論	2		経営313	応用簿記論	2
			経営217	まちづくり地域興し論	2		経営314	財務会計	2
			経営218	マーケティング実践研究	2		経営316	簿記論演習	2
			経営301	経営戦略論	2		経営317	財務会計論演習	2
			経営302	コーポレートファイナンス理論編	2		経営318	管理会計論	2
			経営303	サプライチェーン・マネジメント	2		経営319	数字で学ぶビジネス	2
			経営304	広告論	2		経営320	中小企業論	2
			経営307	原価計算論	2		経営321	市場調査論	2
			経営308	税務会計論	2		経営400	卒業研究	2
			地域・国際実践力科目	科目番号	授業科目		単位数		
				経営353	実践経営学Ⅰ		2		
				経営354	実践経営学Ⅱ		2		
経営355	実践経営学Ⅲ	2							
経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2							
経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2							
経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2							
経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2							

規程第6条、8条関係 履修区分及び授業内容  
プログラム専門科目(昼間主コース)

	科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容	必修	選択必修	選択	
基礎科目	経営103	簿記入門	4	4-0	1	前	企業が公表する財務諸表の作成技術である複式簿記の基礎を学ぶ。	●			
	経営201	組織行動論	2	2-0	2	前又は後	組織における人間行動に関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。			●	
	経営202	経営組織論	2	2-0	2	前又は後	経営組織のマネジメントに関する理論・学説を体系的に学び、実践に活用できる事例分析などを行う。			●	
	経営203	観光情報論	2	2-0	2	前又は後	デスティネーション(観光地)を効果的にマーケティングする際に必要とされる観光情報システムの構築について考える。			●	
	経営205	会計学	2	2-0	2	前又は後	現代の企業会計のフレームワークと、貸借対照表・損益計算書の基礎構造を学ぶ。			●	
	経営206	流通原論	2	2-0	2	前又は後	製品が生産され地点に至るまでの過程を分析し考察していく。			●	
	経営207	経営情報論	2	2-0	2	前又は後	企業経営に不可欠な情報を体系的に学習し、情報システム構築の基礎を理解する。			●	
	経営208	消費者行動論	2	2-0	2	前又は後	消費者行動に対する様々な理論や概念を学び、課題やディスカッションを通じて実際の消費者行動を分析するとともに、消費行為に対する理解を深める。			●	
	経営217	まちづくり地域興し論	2	2-0	2	前又は後	様々な切り口から、まちづくり・地域興しの事例を概観しその手法を身に着け、地域資源を生かした提言ができるようにする。			●	
	経営218	マーケティング実践研究	2	2-0	2	前又は後	事例を通じて企業のマーケティング活動の内容を理解し、提示された課題に対して討議を行う。			●	
	経営301	経営戦略論	2	2-0	3	前又は後	経営戦略の内容を、ドメインの定義、経営資源の展開、競争戦略の決定、ビジネスシステムの決定、の四つに整理したうえで、企業の持続的競争優位に貢献する経営戦略とはどのようなものかという問題について解説する。			●	
	経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	2-0	3	前又は後	株式投資を通じてファイナンス理論を理解することを目的としている講義である。具体的には、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、DCF方を利用して株式評価を行う。			●	
	経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	2-0	3	前又は後	最初の資材購入から消費者への販売までの全プロセスを最適管理するという従来の物流を超えた新しい理論を解説する。			●	
	経営304	広告論	2	2-0	3	前又は後	企業のプロモーション活動を「マーケティング」、「関与度」、「芸術表現」といった観点から解説する。受講生の提案練習も行う。			●	
	経営307	原価計算論	2	2-0	3	前又は後	事業体(主に企業)における原価計算の理論・技法を講義し、原価管理の観点からコストマネジメントおよび組織管理の手法について学ぶ。			●	
	経営308	税務会計論	2	2-0	2	前又は後	法人税法について講義を行う。法人税法については企業会計との違いを重点的に説明する。			●	
	経営プログラム専門科目	経営211	人的資源管理論	2	2-0	2	前又は後	人材マネジメントに関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。			●
		経営213	ベンチャー企業論	2	2-0	2	前又は後	経営戦略が有効なものであればベンチャー企業は競争優位を獲得できるという枠組みに基づき、ベンチャー企業のマネジメントについて、特に経営戦略を中心に解説していく。			●
		経営222	ホテル経営論	2	2-0	2	前又は後	国内・外ホテルの経営戦略及び実践手法について講義する。			●
		経営225	物流サービス論	2	2-0	2	前又は後	幅広い現代物流の仕組みについて解説する。			●
		経営226	Tourism Development	2	2-0	2	前又は後	島嶼地域であるハワイの観光産業の現状と課題を通して、持続可能な観光開発のあり方について学ぶ。			●
		経営311	競争戦略論	2	2-0	3	前又は後	競争戦略論の代表的な分析視角(ポジショニング論、資源ベース論、能力ベース論など)を取り上げ、その内容と意義を中心に解説する。			●
		経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	2-0	3	前又は後	理論編で学習した知識を利用して、複数の株式へ投資を行うポートフォリオ理論やオプション等のデリバティブ投資を学習する。			●
		経営313	応用簿記論	2	4-0	2	前又は後	簿記入門の講義を履修した学生を対象に、中級レベルの簿記の講義を行う。			●
		経営314	財務会計	2	2-0	2	前又は後	会計学の講義を受けた学生を対象に、財務会計の個別応用論点の講義を行う。			●
		経営316	簿記論演習	2	2-0	3	前又は後	将来会計専門職に就くことを考えている学生を対象に上級簿記の講義を行う。			●
		経営317	財務会計論演習	2	2-0	3	前又は後	将来会計専門職に就くことを考えている学生を対象に上級財務会計の講義を行う。			●
		経営318	管理会計論	2	2-0	3	前又は後	経営管理の観点から管理会計の理論・技法について講義し、意思決定や業績評価さらに予算管理や戦略会計にまで講義を展開する。			●
		経営319	数字で学ぶビジネス	2	2-0	3	前又は後	会計数値を通じてビジネスのしくみを学ぶ。			●
		経営320	中小企業論	2	2-0	3	前又は後	中小企業の機能と意義および中小企業の歴史、現状、今後の展望について、理論的・実践的に学ぶ。			●
		経営321	市場調査論	2	2-0	3	前又は後	経営やマーケティングに関連する様々な課題に対して、適切な調査方法と内容を企画し、そして、その調査の結果から意味を読み取る手法を紹介し学習する。			●
		経営400	卒業研究	2	0-2	4	後	大学生活の集大成として、テーマや課題に取り組んだ学習・研究の成果を卒業論文或いは課題研究報告書としてまとめる。	●		
		地域・国際実践力科目	経営353	実践経営学Ⅰ	2	2-0	2~4	前又は後	上場企業の経営法務(株主総会やコーポレートガバナンス等)に関する知識習得と実務的アプローチについて、実務家講師を招待して実施する講義である。		
	経営354		実践経営学Ⅱ	2	2-0	2~4	前又は後	経営学に関する実践的なトピックスについて学ぶ。テーマは開講年次によって変更するので、シラバスは必ずチェックすること。			●
	経営355		実践経営学Ⅲ	2	2-0	2~4	前又は後	現行の会計の枠組みを学習する座学と、税理士事務所や会計事務所の社会的役割と業務内容について学ぶ職務体験としてのインターンシップを組ませた講義			●
	経営361		地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。	●		
	経営362		地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。	●		
	経営401		地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。	●		
経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ		2	0-2	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。	●			

**規程第18条関係 卒業要件  
経営プログラム(昼間主コース)**

1.卒業単位は合計124単位とする。

2.共通教育科目は30単位とする。

授業科目の区分		指定科目	必修	選択	選択必修	必要単位数	備考		
共通教育 ※1	基盤領域	第1外国語(英語)	「大学英語」、「英語講読演習中級」を含む	8	4	0	8単位以上		
		第2外国語	英語以外の一つの外国語	4			4単位以上		
		データリテラシー	「情報科学演習」	2			2単位以上		
		キャリア・ダイバーシティ	「キャリア形成入門」	2			2単位以上		
		健康運動系	指定科目なし	2			2単位以上		
	教養領域	学問分野別教養	人文社会科学	指定科目なし			4	4単位以上	
			自然科学	指定科目なし			2	2単位以上	
		琉大特色・地域創生	指定科目なし	2			2単位以上		
		グローバル							
	小計			26			4	0	
①共通教育総計			30						

(※1)共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。  
アカデミックスキル科目は卒業要件の単位には含めません。

3.専門教育科目は94単位以上とする。

科目区分		指定科目	必修	選択	選択必修	必要単位数	備考			
専門教育	学部共通基盤専門	専門基盤力科目	基礎演習 経営学入門 マーケティング入門	6	10	2	16単位以上	18単位以上		
		※2								
		プログラム複合科目					2		2単位以上	
	プログラム専門科目	経営プログラム専門科目	卒業研究 簿記入門	6	26		32単位以上	44単位以上		
			地域・国際実践力科目	地域・国際実践力演習Ⅰ 地域・国際実践力演習Ⅱ 地域・国際実践力演習Ⅲ 地域・国際実践力演習Ⅳ					8	4
		※3		32					32単位以上	
		小計		20					72	2
	②専門教育総計			94						
	①+② 合計			124						

(1)学部共通基盤専門科目は合計18単位以上を履修すること。  
・専門基盤力科目は、合計16単位以上履修すること。  
・※2 専門基盤力科目のうち、所属するプログラムを含む3つのプログラムにまたがるように修得すること。  
・プログラム複合科目は、合計2単位以上履修すること

(2)プログラム専門科目は合計44単位以上を履修すること。  
○経営プログラム専門科目は、合計32単位以上履修すること。  
○地域・国際実践力科目は、合計12単位以上を履修すること。

(3)専門教育選択科目は、合計32単位以上を履修すること。  
○※3 学部共通基盤専門科目、経営プログラム専門科目、及び地域・国際実践力科目で、必要単位数を超過して取得した単位は、専門教育選択科目の単位とすることができる。  
○他プログラム・他学部提供の専門科目(教職科目含む)は、専門教育選択科目の単位として読み替えることができる。

(4)登録上限単位数及び上限超過基準については、別紙を確認すること。  
(5)卒業要件に算入できる遠隔授業の単位数は、60単位を上限とする。ただし、単位認定を受けた科目(認定科目)のうち、遠隔授業の科目も含む。  
(6)原則として、必修以外の科目について夜間主コースに開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。

規程第6条関係 授業科目の種類  
経営プログラム(夜間主コース)

プログラム専門科目	経営プログラム専門科目	基礎科目	科目番号	授業科目	単位数	応用科目	科目番号	授業科目	単位数
			B経営103	簿記入門	4		B経営211	人的資源管理論	2
			B経営201	組織行動論	2		B経営213	ベンチャー企業論	2
			B経営202	経営組織論	2		B経営217	まちづくり地域興し論	2
			B経営203	観光情報論	2		B経営218	マーケティング実践研究	2
			B経営205	会計学	2		B経営225	物流サービス論	2
			B経営206	流通原論	2		B経営311	競争戦略論	2
			B経営207	経営情報論	2		B経営312	コーポレートファイナンス実践編	2
			B経営208	消費者行動論	2		B経営313	応用簿記論	4
			B経営301	経営戦略論	2		B経営314	財務会計	2
			B経営302	コーポレートファイナンス理論編	2		B経営318	管理会計論	2
			B経営303	サプライチェーン・マネジメント	2		B経営319	数字で学ぶビジネス	2
			B経営304	広告論	2		B経営320	中小企業論	2
			B経営307	原価計算論	2		B経営321	市場調査論	2
	B経営308	税務会計論	2	B経営353	実践経営学Ⅰ	2			
				B経営354	実践経営学Ⅱ	2			
				B経営355	実践経営学Ⅲ	2			
				B経営400	卒業研究	2			
		地域・国際実践力科目	科目番号	授業科目	単位数				
	B経営361		地域・国際実践力演習Ⅰ	2					
B経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ		2						
B経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ		2						
		B経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2					

## 規程第6条、8条関係 履修区分及び授業内容

## プログラム専門科目(夜間主コース)

		科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容	必修	選択 必修	選択
経営プログラム専門科目	基礎科目	B経営103	簿記入門	4	2-0	2	前又は後	企業が公表する財務諸表の作成技術である複式簿記の基礎を学ぶ。	●		
		B経営201	組織行動論	2	2-0	2	前又は後	組織における人間行動に関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。			●
		B経営202	経営組織論	2	2-0	2	前又は後	経営組織のマネジメントに関する理論・学説を体系的に学び、実践に活用できるよう事例分析などを行う。			●
		B経営203	観光情報論	2	2-0	2	前又は後	デスティネーション(観光地)を効果的にマーケティングする際に必要とされる観光情報システムの構築について考える。			●
		B経営205	会計学	2	2-0	2	前又は後	現代の企業会計のフレームワークと、貸借対照表・損益計算書の基礎構造を学ぶ。			●
		B経営206	流通原論	2	2-0	2	前又は後	製品が生産され地点に至るまでの過程を分析し考察していく。			●
		B経営207	経営情報論	2	2-0	2	前又は後	企業経営に不可欠な情報を体系的に学習し、情報システム構築の基礎を理解する。			●
		B経営208	消費者行動論	2	2-0	2	前又は後	消費者行動に対する様々な理論や概念を学び、課題やディスカッションを通じて実際の消費者行動を分析するとともに、消費行為に対する理解を深める。			●
		B経営301	経営戦略論	2	2-0	3	前又は後	経営戦略の内容を、ドメインの定義、経営資源の展開、競争戦略の決定、ビジネスシステムの決定、の四つに整理したうえで、企業の持続的競争優位に貢献する経営戦略とはどのようなものかという問題について解説する。			●
		B経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	2-0	3	前又は後	株式投資を通じてファイナンス理論を理解することを目的としている講義である。具体的には、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、DCF方を利用して株式評価を行う。			●
		B経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	2-0	3	前又は後	最初の資材購入から消費者への販売までの全プロセスを最適管理するという従来の物流を超えた新しい理論を解説する。			●
		B経営304	広告論	2	2-0	3	前又は後	企業のプロモーション活動を「マーケティング」、「関与度」、「芸術表現」といった観点から解説する。受講生の提案練習も行う。			●
		B経営307	原価計算論	2	2-0	3	前又は後	事業体(主に企業)における原価計算の理論・技法を講義し、原価管理の観点からコストマネジメントおよび組織管理の手法について学ぶ。			●
		B経営308	税務会計論	2	2-0	2	前又は後	法人税法について講義を行う。法人税法については企業会計との違いを重点的に説明する。			●
	B経営211	人的資源管理論	2	2-0	2	前又は後	人材マネジメントに関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。			●	
	B経営213	ベンチャー企業論	2	2-0	2	前又は後	経営戦略が有効なものであればベンチャー企業は競争優位を獲得できるという枠組みに基づき、ベンチャー企業のマネジメントについて、特に経営戦略を中心に解説していく。			●	
	B経営217	まちづくり地域興し論	2	2-0	2	前又は後	様々な切り口から、まちづくり・地域興しの事例を概観しその手法を身に着け、地域資源を生かした提言ができるようにする。			●	
	B経営218	マーケティング実践研究	2	2-0	2	前又は後	事例を通じて企業のマーケティング活動の内容を理解し、提示された課題に対して討議を行う。			●	
	B経営225	物流サービス論	2	2-0	2	前又は後	幅広い現代物流の仕組みについて解説する。			●	
	B経営311	競争戦略論	2	2-0	3	前又は後	競争戦略論の代表的な分析視角(ポジショニング論、資源ベース論、能力ベース論など)を取り上げ、その内容と意義を中心に解説する。			●	
	B経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	4-0	3	前又は後	理論編で学習した知識を利用して、複数の株式へ投資を行うポートフォリオ理論やオプション等のデリバティブ投資を学習する。			●	
	B経営313	応用簿記論	4	2-0	2	前又は後	簿記入門の講義を履修した学生を対象に、中級レベルの簿記の講義を行う。			●	
	B経営314	財務会計	2	2-0	2	前又は後	会計学の講義を受けた学生を対象に、財務会計の個別応用論点の講義を行う。			●	
	B経営318	管理会計論	2	2-0	3	前又は後	経営管理の観点から管理会計の理論・技法について講義し、意思決定や業績評価さらに予算管理や戦略会計にまで講義を展開する。			●	
	B経営319	数字で学ぶビジネス	2	2-0	3	前又は後	会計数値を通じてビジネスのしくみを学ぶ。			●	
	B経営320	中小企業論	2	2-0	3	前又は後	中小企業の機能と意義および中小企業の歴史、現状、今後の展望について、理論的・実証的に学ぶ。			●	
	B経営321	市場調査論	2	2-0	3	前又は後	経営やマーケティングに関連する様々な課題に対して、適切な調査方法と内容を企画し、そして、その調査の結果から意味を読み取る手法を紹介し学習する。			●	
	B経営353	実践経営学Ⅰ	2	2-0	2~4	前又は後	上場企業の経営法務(株主総会やコーポレートガバナンス等)に関する知識習得と実務的アプローチについて、実務家講師を招待して実施する講義である。			●	
	B経営354	実践経営学Ⅱ	2	0-2	2~4	前又は後	経営学に関する実践的なトピックスについて学ぶ。テーマは開講年次によって変更するので、シラバスは必ずチェックすること。			●	
	B経営355	実践経営学Ⅲ	2	2-0	2~4	前又は後	現行の会計の枠組みを学習する座学と、税理士事務所や会計事務所の社会的役割と業務内容について学ぶ職務体験としてのインターシップを合わせた講義			●	
	B経営400	卒業研究	2	2-0	4	後	大学生生活の集大成として、テーマや課題に取り組んだ学習・研究の成果を卒業論文または課題研究報告書としてまとめる。	●			
	地域・国際実践力科目	B経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	2-0	2~4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。	●		
		B経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。	●		
		B経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。	●		
		B経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。	●		

**規程第18条関係 卒業要件  
経営プログラム(夜間主コース)**

1.卒業単位は合計124単位とする。

2.共通教育科目は40単位とする。

授業科目の区分		指定科目	必修	選択	選択必修	必要単位数	備考	
共通教育 ※1	基盤領域	第1外国語	・英語又は英語以外の一つの外国語 ・第一外国語が英語の場合、「大学英語」、 「英語講読演習中級」を含む	8	8		8単位以上	
		第2外国語	・英語又は英語以外の一つの外国語 ・第二外国語が英語の場合、「大学英語」を含む	4			4単位以上	
		データリテラシー	「情報科学演習」	2			2単位以上	
		キャリア・ダイバーシティ	「キャリア形成入門」	2			2単位以上	
		健康運動系	指定科目なし	2			2単位以上	
	教養領域	学問分野別教養	人文社会科学	指定科目なし	6	2		6単位以上
			自然科学	指定科目なし	4			4単位以上
		琉大特色・地域創生	指定科目なし	2	2単位以上			
		グローバル						
	小計			30	8	2		
①共通教育総計			40					

(※1)共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。  
アカデミックスキル科目は卒業要件の単位には含めません。

3.専門教育科目は94単位以上とする。

科目区分		指定科目	必修	選択	選択必修	必要単位数	備考
専門教育	学部共通基盤 科目	専門基盤力科目	基礎演習 経営学入門 マーケティング入門	6	2		8単位以上
		プログラム専門科目	(基礎科目)	簿記入門			4
	(応用科目)		卒業研究	2			
	地域・国際実践力科目		地域・国際実践力演習Ⅱ 地域・国際実践力演習Ⅲ 地域・国際実践力演習Ⅳ	8	8単位以上		
	専門教育選択科目		※3		30		30単位以上
	小計			20	64	0	
②専門教育総計			84				
①+② 合計			124				

(1)学部共通基盤専門科目は合計8単位以上を履修すること。

(2)プログラム専門科目は合計46単位以上を履修すること。  
○経営プログラム専門科目は、合計38単位以上履修すること。  
○地域・国際実践力科目は、合計8単位以上を履修すること。

(3)専門教育選択科目は、合計30単位以上を履修すること。  
○※3 学部共通基盤専門科目、経営プログラム専門科目、及び地域・国際実践力科目で、必要単位数を超過して取得した単位は、専門教育選択科目の単位とすることができる。  
○他プログラム・他学部提供の専門科目(教職科目含む)は、専門教育選択科目の単位として読み替えることができる。

(4)登録上限単位数及び上限超過基準については、別紙を確認すること。

(5)卒業要件に算入できる遠隔授業の単位数は、60単位を上限とする。ただし、単位認定を受けた科目(認定科目)のうち、遠隔授業の科目も含む。

(6)原則として、必修以外の科目について昼間主コースに開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。